



未来を夢見て Season 2

2022/2/22 No. 126

春の足音はまだ・・・

校旗移譲式・雅子先生・卒業生への授業・大澤先生の成人を祝う会

2月22日（火）。今日も朝から大雪となり、仙台市内から通勤している私はいつもより学校に到着するのが遅くなってしまいました。どうしても雪の日は交通渋滞に巻き込まれてしまいます。それにしても今年はよく雪が降りますね。この雪を喜んでいるのは子供たち。驚いたのは業間に短パンで校庭に出てきたお子さんがいたことです。見ている方が寒くなってしまいました。この元気には敬服です。



21日（月）には6年生から5年生へ校旗の移譲式を行わせていただきました。昨年度からのコロナ禍で、子供たちの学校への所属感や愛着心が薄れているのではないかと、心を育てるのはとても難しいことですが、校旗を掲揚することで、校旗に込められた「心一つにして生活する」「学校を大切にする」その思いを感じて欲しい、という願いから今年取り組んでみました。6年生の子供たちがよく頑張ってくれて、新しい小野小学校の伝統を築き、5年生にしっかり引き継いでくれました。

またこの日は今年非常勤で勤務していただいた佐藤雅子先生（前職員）の最後の勤務日でした。雅子先生には初任の先生の後補充や体育の授業を行っていただきましたが、音楽の授業では琴の演奏も聴かせてくださいました。この日は、子供たちから雅子先生に御礼の手紙が校長室で届けられました。



先週は6年生の4クラスともみじ学級さんで授業を行わせていただきました。6年生はどの学級も学びの構えがすばらしく、日々の先生方の指導の成果が子供たちに姿となっていると感じました。またもみじ学級さんでは、安藤教頭先生にアンデルセンの「みにくいあひるの子」の読み聞かせを行っていただいた後に、今年観察を続けてきた「ハクチョウ」やあの「アヒル」の動画を見てもらいました。少しは子供たちに喜んでもらえたことと思います。ところで、実は最近もハクチョウの観察を続けているのですが、少しずつ北へ帰る準備も進んでいるらしく、以前よりも広瀬川で見かけるハクチョウの数が少なくなっているように感じました。

さて最後は写真右。大澤先生の「成人を祝う会」の一コマ。長く教職を続けさせていただいてきましたが、校内でこのような儀式を行うのは私も初めてでした。いつもスーツをきちんと着こなし、仕事の正確さと速さ、言葉遣い、来客への接遇、電話対応どれも満点の大澤先生、先生方が安心して子供たちに向かうことができるのも事務をきちんと行っている村上先生と大澤先生のおかげです。社会人2年目の益々の飛躍を期待します。

（文責：手代木）